

令和元年度岡山大学農学部愛媛県支部同窓会

発足して5回目の農学部愛媛県支部同窓会が、令和元年6月15日、「リジェール松山」において、来賓に今年新任の木村吉伸農学部長、今年度定年を迎えられ私の同期生でもある上村一雄教授のお二人をお迎えして、昭和卒13名、平成卒14名と各年代バランスよく参加いただき、そのうち4名が女性という総勢29名で盛大に開催されました。

今回は、昨年までの河野さん（昭和62年卒）に代わり、若手代表の藤井さん（平成10年卒）の司会進行により開会しました。

はじめに、代表世話人の諏訪（昭和52年卒）が、昨年の同窓会開催1週間後に愛媛県内を襲った西日本豪雨が、農業界へ大きな影響を及ぼしたことを痛感するとともに被災者への心からのお見舞いと早期の復旧・復興を祈念すると述べ、岡大の半田山キャンパスで青春のひと時を過ごした幅広い世代の仲間がここに集い交流を深め、本日この時が楽しいひと時となり、この再会を共に喜びたいとあいさつしました。

続いて、木村農学部長から「岡大農学部の近況について」の報告があり、①岡大農学部は持続可能な開発目標（SDGs）を見据えた幅広い領域で活躍できる人材育成をめざした教育・研究体制を創り上げており、昭和63年ごろまでは5学科（農学、園芸学、畜産学、農芸化学、農業工学）であったが、今日の参加者名簿からもわかるように平成卒生からは総合農業科学科1学科で1年次に農学全般の基礎知識を習得し、2年次以降は4つのコース（農芸化学、応用植物学、応用動物学、環境生態学）で専門知識を習得する体制となっていること。②農業工学科は環境理工学部へ移行したが、今回環境理工学部が廃止になり工学部へ移行されることから農業系の土木研究が弱体化されるのではないかと危惧されていること。③今年の入試からセンター試験の配点重視を岡大独自試験の配点重視へと変わったことで岡大を志望する学生が増加し、倍率が上がり良い人材が来てくれるようになったことを持参いただいたパンフレットにより説明されました。また、収穫祭は昔のようにアルコールで酔いつぶれる学生が出るような催しから健全な催しへと変貌しているが、地域との交流を深める行事となっており、各位にも是非参加してほしいと付け加えられ、当時の酔態が思い出され会場の笑いを誘いました。恒例の記念撮影は高井さん（平成6年卒）が担当しぱっちりチーズ。

上村教授の乾杯挨拶では、各地で同窓会支部設立に努力はしているが、広島、東京、愛媛の3支部の発足にとどまり、Alumni（全学同窓会）の発足で活動が二分化されている中でも「愛媛はアクティブに活動している」とお褒めの言葉をいただき開宴。

自己紹介では、初参加の女性2名。壺内さん（平成17年卒）は高井さんと同じ三浦工業から今年やっと参加が実現。三谷さん（平成31年卒）は今年卒業したばかりのフレッシュさんで、同じ県農林水産研究所勤務の河野さんの誘いで参加し、同窓会に新しい花が咲きました。今年は、現役の方から各職場を代表して職場紹介を兼ねて9名から素敵なスピーチがあり、各職場での仕事内容をアピールしていただきましたが、皆さん誇りをもって業務に携わっており、農学部と同窓生として刺激を受けたひと時となりました。また、人手不足のなか、是非とも岡大生がそれぞれの職場に就職してくれるようお願いの声が続出しました。これを受け、木村農学部長からは就職説明会は農学部でも開催しており、連絡していただければとの期待に応える声が出されました。

4テーブルの配置は昨年までの年齢順から、新しい試みとして昭和卒2テーブルをシャッフル、平成卒2テーブルもシャッフルする配置にしたところ、宴が進むにつれて昭和組が平成組のテーブルへと移動し年齢・年代を超えた話の輪が広がった格好となりました。

最後に藤田さん（平成4年卒）の音頭で岡大学生歌を唱和した後、年配者の井手さん（昭和48年卒）が「万歳3回」ということで「同窓会への感謝」で1回、「同窓生のご健勝」で1回、「同窓会の隆盛」で1回の万歳を行って締めくくりました。

まだまだ話が尽きないことから、今年も2次会をお誘いしたところ、16名が参加していただき、同窓生の輪が広がる楽しい時間となりました。

今年も皆さんに感謝、感謝の集いとなりました。

代表世話人 諏訪 玄